



第77巻 第1号 史学・地理学・考古学

論 説

- 元老制度再考……………伊藤之雄 (1)
——伊藤博文・明治天皇・桂太郎——
- 教皇インノケンティウス四世の政治理論における
教皇権と世俗権……………尾崎秀夫 (32)
- 「ラヴァルのヴィシー」と世俗的教師……………平野千果子 (64)

研究ノート

- 高麗王言考……………矢木毅 (95)
- 吉野山村における近世前期の耕地経営……………米家泰作 (116)
——川上郷井戸村を事例として——

書 評

- 高山博著『中世地中海世界とシチリア王国』……………山辺規子 (135)
- 中塚明著『近代日本の朝鮮認識』……………藤永壮 (142)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

割を果たしていたことが分かるのである。なお宋元の華嚴宗は、江南の杭州が一つの中心地をなしていたが、『明高僧伝』によると、元代には華北に華嚴宗の僧が輩出している。彼らが遼代の華嚴教学とどのような関係にあったかは、今のところ明らかでない。

華北における仏教教学の承譜がはっきりとたどれるのは、慈恩(法相)宗の場合であり、その代表的学者は遼の証明である。彼の著作で伝存するものは一部もなく、その事蹟も分からなかったが、『金藏』中から二部三巻が見つかり、注目を集めた。応果木塔からもさらに『法華經玄贊会古通今新抄』(『法華新抄』)など三部四巻が発見され、その題記から彼が聖宗朝に活躍した学僧であることが明らかになった。新出著作のうち重要なものは『法華新抄』であり、『秘藏』によってその内容を知ることができる。これは唐の窺基『法華經玄贊』の詳細な注釈書で、外典の引用も多く、『論語』などは孔注まで引いている。とくに興味深いのは、『左伝』隠公三年条の引用文である。これは本文だけで一五七字、それに杜預注、音注が加わる長文である。その引用文に現

行本と異なるところがある。はじめ遼代通行本の誤りかと思ったが、よく調べてみると、実は唐の栖霞『法華經玄贊要集』(『鏡水抄』)の誤りを踏襲したものであった。証明は『鏡水抄』に多くを依拠し、しばしば「大抄云」として引用する。またこれに先立つ智周の『法華經玄贊撰釈』も多く引かれており、彼が窺基—智周—栖霞と連なる唐代慈恩宗の正統を継承していることが分かる。『法華新抄』は高麗、北宋さらに敦煌に伝わっており、彼はいわば当時の国際的学者であった。本書が日本にも伝わっていたことは、貞慶『法華開示抄』にこれがさかんに引用され、また「憫忠寺沙門証明法師」とも記されていることから明らかである。この『法華新抄』を、いつ、誰がもたらしたのかは分からないが、あるいは成尋が送り届けたものかも知れない。前稿で述べたように、華北では唐末以来、慈恩宗が行われ、北宋末金初には学僧守千が多く著作を残し、その学統は元代に及んだ。さらに、それが明末の法相学にまで影響を与えた。つまり華北仏教ないし華北文化の流れをもっとも顯著に示すものが、慈恩宗なのである。

編集後記

また新たな年をむかえ、『史林』も第七七巻という齢を迎えることになりました。これもひとえに会員諸兄姉のご理解のたまものと存じます。目下、刊行の遅れを取りもどすべく編集委員一同、懸命の努力を重ねておりますが、投稿者各位におかれましても、完全成稿による投稿、校正過程の迅速化、適切な地図の作成等の面でのご協力をいただけますようお願い申し上げます。(石)

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

一九九三年二月二十五日印刷 定価 一、二〇〇円
一九九四年一月一日発行 送料五二円

史林 第七七巻第一号(通巻第三八三号)

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

史学研究会

理事長 朝尾直弘

京都市下京区七条御所ノ内中町五〇
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXVII No. 1 January 1994

CONTENTS

Articles :

- ITO Yukio: A Study on the *Genro* 元老 System
in the Meiji era (1)
—Ito Hirobumi, Emperor Meiji, Katsura Taro—
- OZAKI Hideo: Papal Power and Secular Power in the
Political Theory of Pope Innocent IV (32)
- HIRANO Chikako: “Vichy de Laval” et les
instituteurs laïques (64)

Notes :

- YAGI Takeshi: A Study on Terms concerning
Royal Ordinances of the Koryo Dynasty (95)
- KOMEIE Taisaku: Agricultural land use in the
mountainous region of *Yoshino* in the early *Edo* era (116)
—A case of *Ido*, *Kawakami-go*—

Book Reviews :

- TAKAYAMA Hiroshi: The Medieval Mediterranean and
the Kingdom Sicily (YAMABE Noriko) (135)
- NAKATSUKA Akira: Ideas of Korea in Modern Japan
(FUJINAGA Takeshi) (142)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369